

株主通信

第55期 報告書 平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日



ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える
旭情報サービス株式会社

ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える

旭情報サービス株式会社

創業の精神



約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

◀ 社是

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。



株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国経済は、雇用・所得の改善が堅調に進み、停滞感が見られた企業収益も緩やかな回復基調で推移しました。しかし、中国をはじめ新興国経済の景気減速や英国のEU離脱問題、為替市場の不安定な動きに加え、米国新政権の政策決定の不透明さなどから、経済の先行きは予想しがたい状況が続いています。

情報サービス産業においては、IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）を活用したITサービスの拡大が期待されるほか、クラウドサービスやセキュリティ対策等の需要を軸にIT投資全般は引き続き堅調に推移しました。ただ、既存のITサービスに対する企業のコスト削減姿勢は変わらず、価格面は抑制傾向にあります。

このような情勢の下、当社では、引き続きアウトソーシング案件や上流工程案件の取引拡大に注力し、受注案件ごとの採算性向上などに努めた結果、売上高、利益面ともに着実に伸長することができました。ここに当社のこの1年の取り組みについてご報告させていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

田中博

社員の一人ひとりが成長を実感し、お客さまの信頼を広げています。

Q1 IT投資に対するニーズは根強いようですが、この1年はいかがでしたか？

A1 ITは企業の競争力の源泉であり、この分野への投資は拡大こそすれ、停滞はありません。この1年は売上高だけで見ると過去最高となりました。当社の主要3事業では、ネットワークサービスとシステム開発が順調に売上を伸ばしました。ただ、システム運用については汎用系からネットワーク系への移行期にあるため、従来型の運用・オペレーション業務が縮小する傾向にあり、前年比で微減となりました。IT投資への意欲は高いものの、既存のITサービスに対するコスト意識も高まっており、価格面では依然として抑制傾向にあります。当社では、一括請負の案件を増やすとともに、上流工程案件の取引拡大や企業との直接取引を増やし、案件ごとの採算性の向上に努めています。

Q2 クラウド化の動きが加速しています。業務にどのような変化が生まれていますか？

A2 これまでは企業ごとに専用のシステムを構築するとともに、その運用に大きなエネルギーを注いできました。クラウドではお客さまのさまざまなニーズに合わせて外部のITリソースを活用したり、分散させたシステムを必要に応じて統合して使うことができます。通常、システムの寿命は5～10年といわれますが、最近ではクラウドで分散型のシステムを組み直すケースも増えています。クラウドは外部とのアクセスを容易にするオープンなネットワークでもあるため、外部からのデータ持ち出しなどを防ぐ意味でも万全の情報セキュリティが求められます。当社にはクラウド移行に向けた改善提案の依頼とともに、情報セキュリティのご相談も多く寄せられています。



Q3 IoTやAIが話題となっています。ビジネスチャンスとなるのでしょうか？

A3 ITは目まぐるしく変化しています。この1年で見るとIoTやAIへの注目が大きく高まりました。当社に持ち込まれるお客様のご要望にも既存のITの仕組みをどのように発展させれば、どのような課題解決につながるのか、提案してほしいという声が多く寄せられています。ITの活用法を分かっているのは現場を知り尽くした旭情報サービスだというのがお客様の共通した認識であり、私どもへの期待です。そうした声に誠実に応えていくことが、信頼をつなぐカギだと考えています。

当社では各支社がお客様の現場で実践した改善提案を持ち寄って、年に1度、改善提案の発表会を行っています。今期は“一步先へ 改善提案”のスローガンの下、「ご要望を深く知り、よく考えて行動に移し、一步前に進む」を全社の目標にしています。このような取り組みの中からビジネスチャンスが生まれにくると考えています。

Q4 来期および今後の見通しはどのようなものでしょうか？

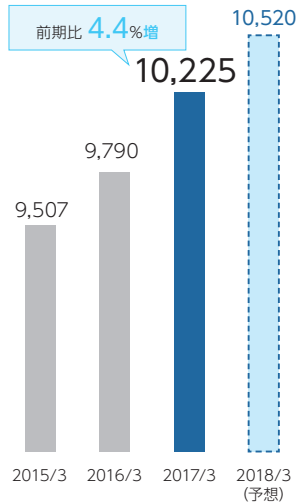
A4 2020年の東京オリンピックまでは好況は持続すると考えています。人手不足が深刻化しており、ITの活用で業務の効率化を図ろうとする動きはさらに強まるものと思われます。モノづくり産業だけでなく、ITと縁遠いと思われた農業のような産業でもIoTを活用する動きが加速しています。

引き続き技術者の育成に注力するとともに、上流工程への移行とアウトソーシング事業の高付加価値化を進めます。また、案件ごとの採算性向上に努め、収益性の改善を図ります。

成長のカギは社員一人ひとりの成長にあります。成長を実感できる仕組みづくりを急ぎ、社員の待遇改善につながる好循環を作り出していきます。そのためにもお客様の信頼向上を進めていきます。株主の皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。

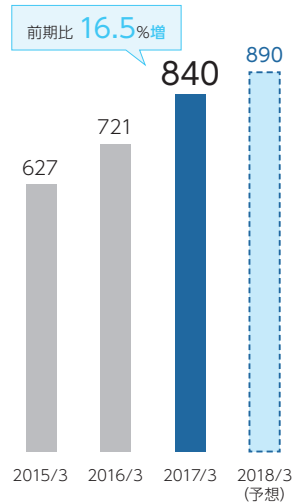
売上高

単位：百万円



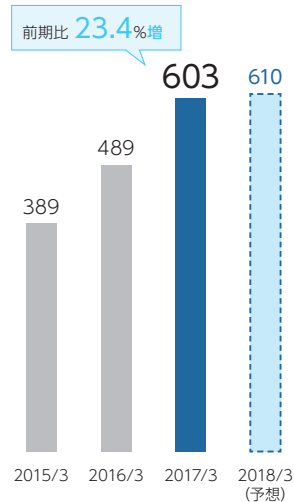
経常利益

単位：百万円



当期純利益

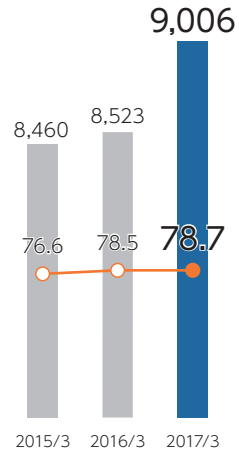
単位：百万円



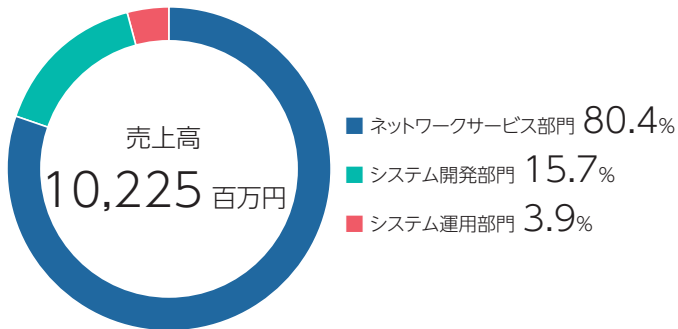
総資産 / 純資産比率

単位：百万円

● 純資産比率



■ 売上高構成比率



ネットワークサービス部門

アウトソーシング案件の取引拡大を図るとともに、採算性の向上に努めた結果、売上高は8,224百万円（前期比4.2%増）となりました。

システム開発部門

組込み系ソフト開発における検証業務が減少したものの、業務系アプリケーション等の案件獲得に努め技術者投入を推進した結果、売上高は1,605百万円（前期比8.0%増）となりました。

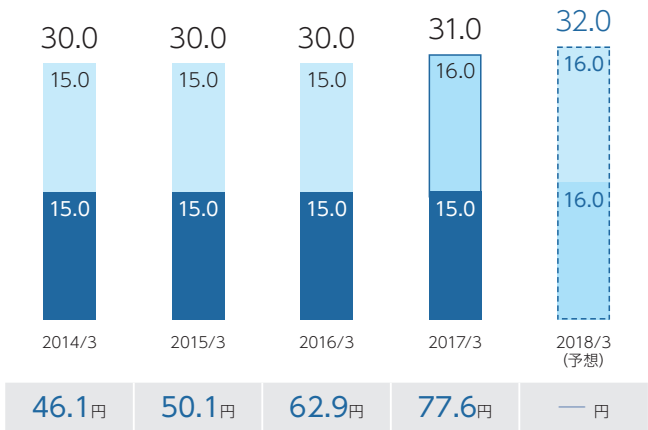
システム運用部門

汎用系の運用やオペレーション業務は、市場の縮小とともに価格下落が継続していることから、汎用系技術からネットワーク系技術への移行に継続して取り組んだ結果、売上高は395百万円（前期比2.9%減）となりました。

■ 配当金の推移

単位：円

■ 中間 ■ 期末



配当金についての考え方

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題の一つとしており、経営基盤の強化と長期的な収益の向上を維持するとともに、配当につきましては安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。

当期の期末配当は、当期の業績等を勘案し、1株につき16.0円とさせていただきます。この結果、年間配当金は前期より1.0円増配の1株につき31.0円（配当性向40.0%）となりました。

今後も株主の皆さまのご期待に添うよう株主還元を努めてまいります。

■ 会社概要 (平成29年3月31日現在)

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	昭和37年8月7日
資本金	7億3,336万円
従業員数	1,436名
主な事業内容	当社は、ネットワークシステムの構築、運用管理をはじめヘルプデスクや障害対応などのサポート業務、およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、汎用系システムの保守・運用管理などの情報処理サービスを行っております。

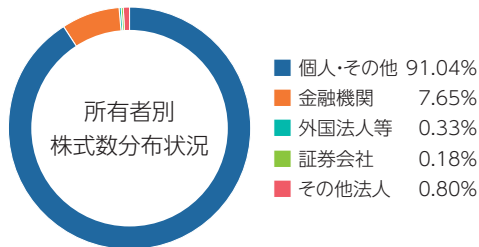
■ 役員 (平成29年6月22日現在)

代表取締役社長	田中 博
常務取締役	濱田 広徳
取締役	英保 吉弘
取締役	宮下 勇人
取締役	水野 伸一
取締役	高橋 章近
取締役(社外)	岩田 守弘
常勤監査役(社外)	松尾 良輔
監査役(社外)	三浦 州夫
監査役	河村 雄良
監査役(社外)	清水万里夫

株式の状況

発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	3,270名

株式分布状況




大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
旭情報サービス社員持株会	1,037,603	13.34
大槻 幸子	420,520	5.41
三井住友信託銀行株式会社	374,000	4.81
小野 一夫	174,000	2.24
大槻 武史	159,300	2.05
日本生命保険相互会社	157,020	2.02
平野 民藏	150,000	1.93
大槻 剛康	140,930	1.81
大槻 幸史	136,200	1.75
大槻 広子	97,900	1.26

(注)持株比率は自己株式(487,772株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	 0120-782-031
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.aiskk.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

● 証券会社に口座を
お持ちの株主様

お取引の証券会社に
お問合せください

● 証券会社に口座を
お持ちでない株主様

左記電話照会先に
お問合せください

● 特別口座の株主様
株券電子化以前に「ほふり」
を利用されていなかった株
主様

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

株主懇談会について

当社は、株主の皆さまに当社の現状および今後の事業展開についてご説明し、オープンな意見交換ができるようにと、定時株主総会終了後に株主懇談会を開催しております。株主懇談会で頂戴しました多くのご意見・ご要望を今後の経営に活かし、株主の皆さまのご支援にお応えしていく所存です。

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝し、毎年、年1回の株主優待を実施しております。

贈呈
基準

毎年3月31日現在で、**1,000**株以上お持ちの株主様

優待
内容

「カタログギフト」5,000円コース

地球環境や社会貢献に配慮したモノやサービスを多数掲載。
ご希望商品1点をお選びいただけます。

ASAHI INTELLIGENCE SERVICE

AIS

旭情報サービス株式会社

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F

<http://www.aiskk.co.jp>



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

